

第3章 ライフラインの被害

(1) 道路

溝口町内道路の被害は、国道181号の路肩崩壊を始め、主要地方道日野溝口線・西伯根雨線、一般県道大滝白水線の落石や土砂崩れがあった。

町道では、宇代線・間賀線・富江線・大原白水線などの路肩が崩壊した。

その他、橋梁については橋台部の道路が陥没したり、段差が数多く出来た。

(2) 上・下水道

水源が枯渇したり、にごり水が発生し、また、町内各地で配水管が破損した。

下水道については、管路が上下に移動したり、管に亀裂が生じたりした。

(3) 通信

通信関係については、有線テレビ放送のケーブルが落石で切断して、放送が一時中断した。



◀落石で大破した軽乗用車
(平成12年10月6日撮影)

溝口町中祖地内

▶二次災害を防ぐため、
大型土のうを設置
(平成12年10月14日撮影)



溝口町福岡地内

◀山の法面が崩壊し道路に
岩石が散乱した
(平成12年10月11日撮影)



溝口町白水地内、県道大滝白水線



国道181号宮原地内

◀ 国道181号の段差は
60~80cmもある
(平成12年10月6日撮影)

道路路肩が30mにわたって ▶
崩れる
(平成12年10月6日撮影)



溝口町宮原地内



溝口町中祖地内の主要地方道日野溝口線

◀ 道路には、数十トンもある
大きな石が崩落した
(平成12年10月6日撮影)



◀山崩れで、今にも
倒れそうなフェンス
(平成12年10月11日撮影)

溝口町焼杉地内 町道焼杉線



道路、路肩の崩壊▶
(平成12年10月11日撮影)

溝口町福岡地内 町道間賀線



◀道路法面が崩壊し山肌が
露出している
(平成12年10月11日撮影)

五輪農道大倉地内

第4章 農林関係の被害

(1) 農地

水田や畑地では、耕作地が陥没したり亀裂が多く見られた。また、畦畔が崩壊した水田も数多く発生した。

(2) 農業用施設

農業用水路は落石や土砂崩壊で水の確保が出来ないところが、町内各地で発生した。特に、溝口町大坂地内の水路トンネルは土砂崩壊や落石で使用不可能となり、約2ヵ年水稲の作付けが不能となった。

(3) 林地

溝口町父原・大坂・宇代・中祖・福島など林地の多くは崖崩れ、土砂崩壊により、山肌がむきだしとなった。

(4) その他

溝口町の特産品「りんご」も収穫を間近にして、落果したところもあった。



福岡地内

▲亀裂が走り段差を生じた水田（平成12年10月14日撮影）



農道にもキレツが▶
（平成12年10月11日撮影）

父原地内

溝口町宇代

崩壊形態：火山礫層に上載した玄武岩の崩落による落石

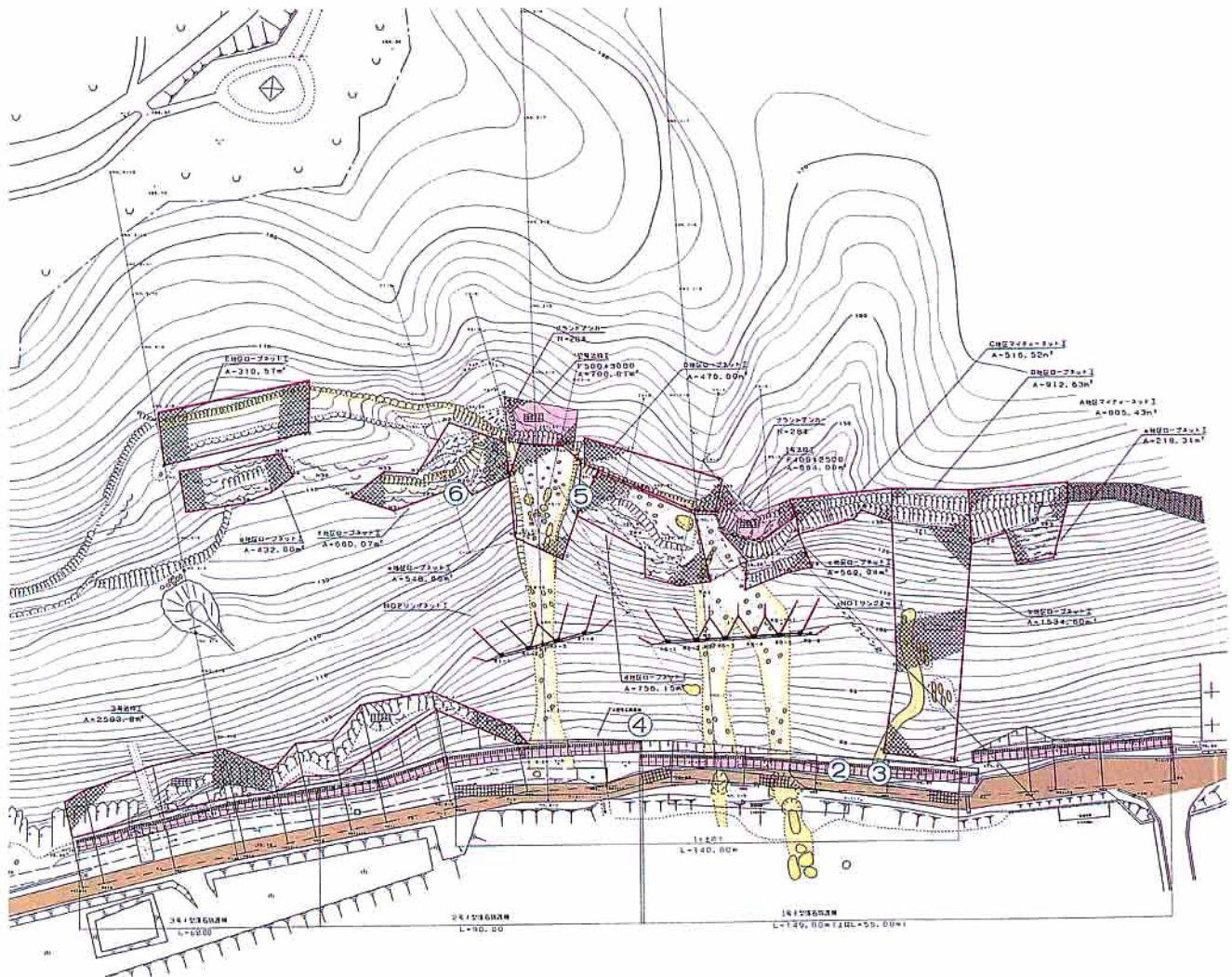
崩壊面積：1.80ha

被災状況：下部町道へ落石（大転石が町道を寸断し日野川まで落下）

復旧計画：岩崖の抑止固定……法枠工・1,364.1㎡、グランドアンカー工・56本

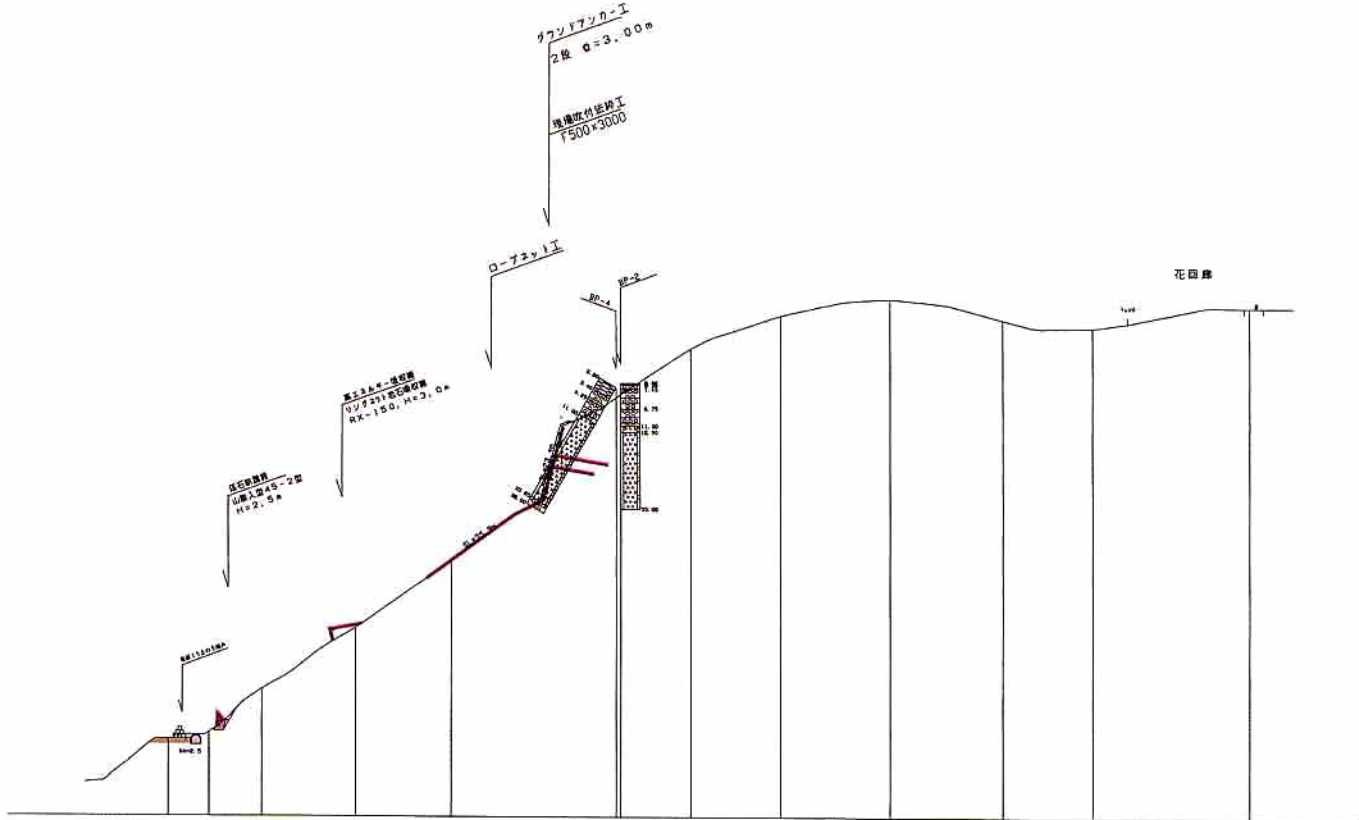
斜面に堆積した転石の固定……ワイヤーロープネット掛

町道への落石対策……高エネルギー落石吸収柵・2基61.0m、落石防止柵・2基
147.0m

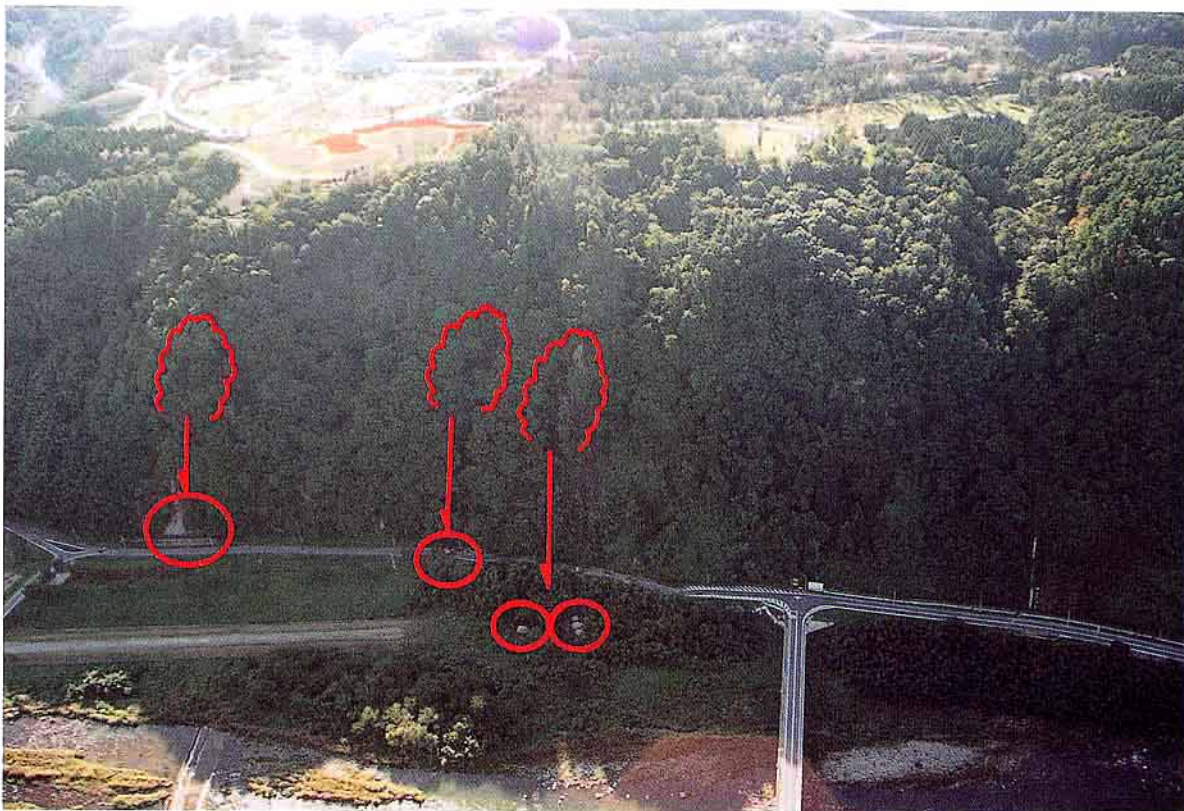


復旧工法を示した平面図





① 計画地全景及び保全対象
岩崖の崩落と、落下した巨大転石



西伯広域農道「華翠橋」付近の山腹崩壊地の航空写真



②河川敷まで到達した大規模落石

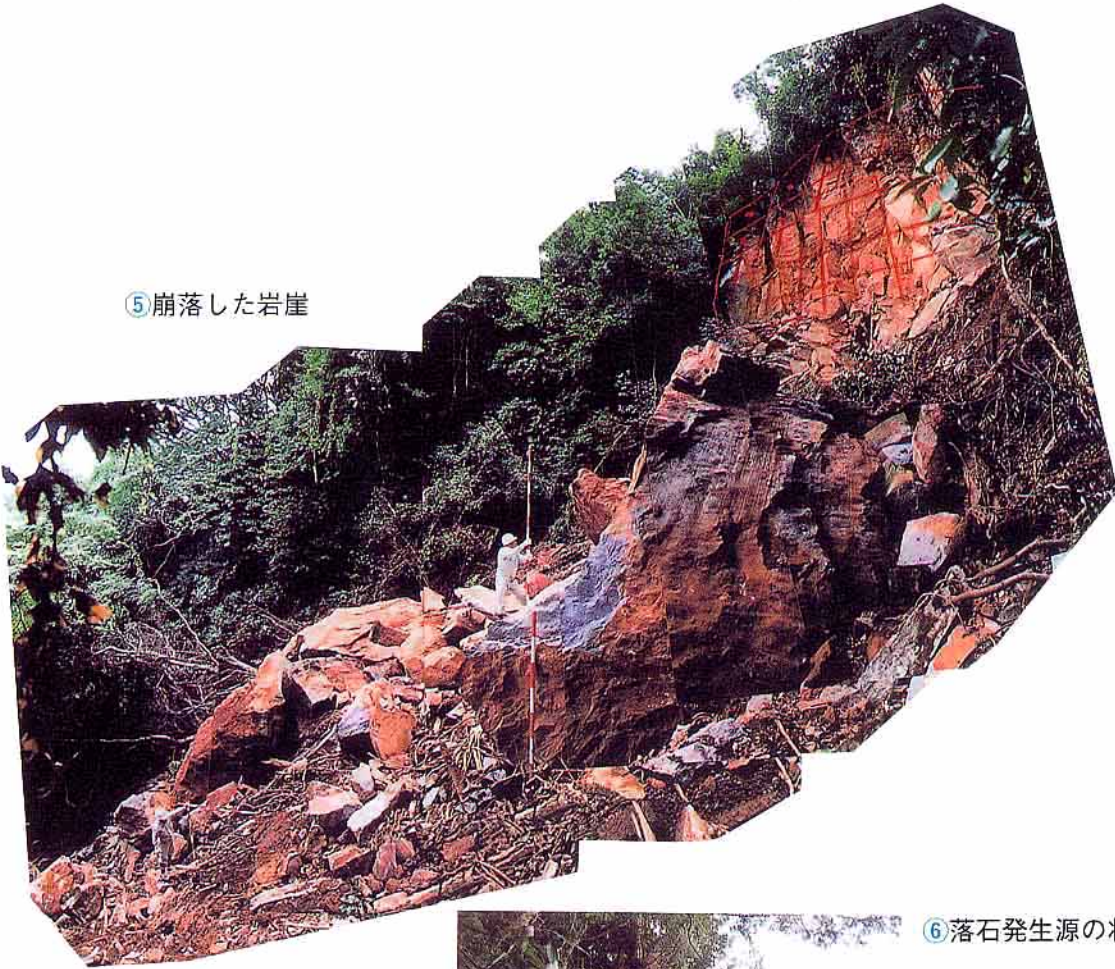
③大規模な落石により町道が陥没



④町道への落石状況



⑤ 崩落した岩崖



⑥ 落石発生源の状況



溝口町中祖

崩壊形態：火山礫層に上載した玄武岩の崩落による落石

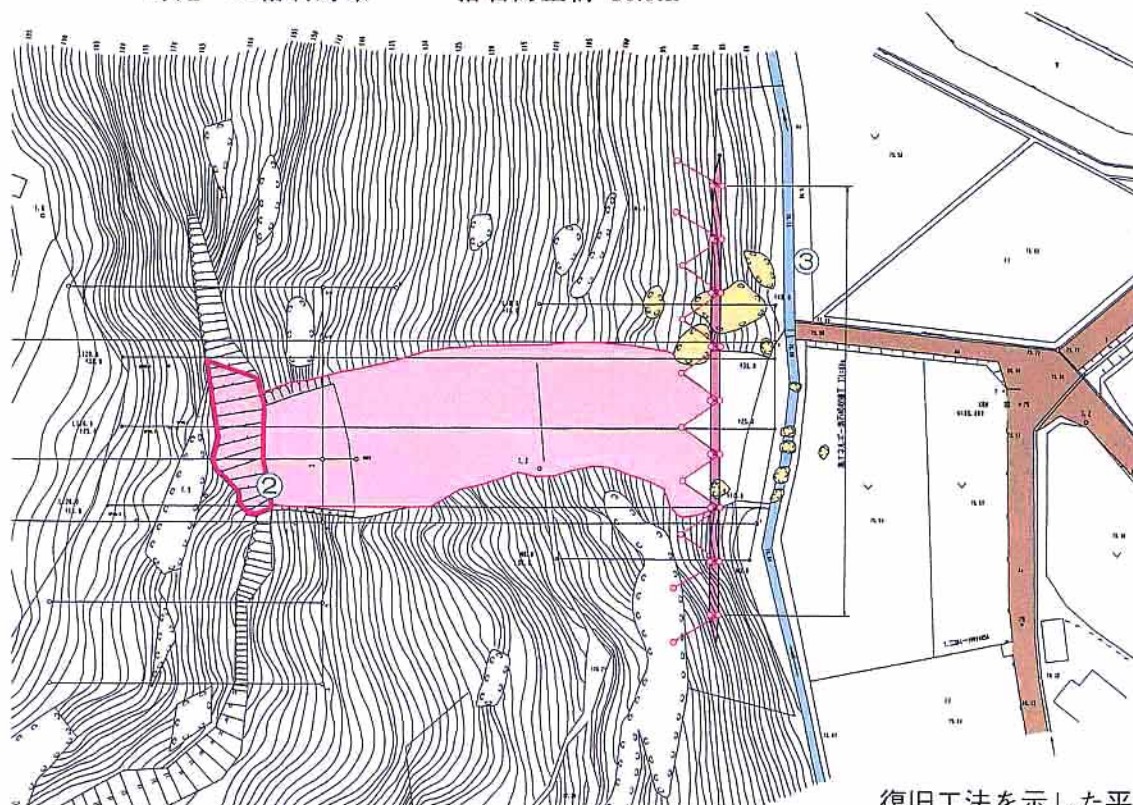
崩壊面積：0.40ha

被災状況：下部農地へ落石

復旧計画：岩崖の抑止固定……法枠工・690.8㎡、グラウンドアンカー工・37.0本

斜面に堆積した転石の固定……ワイヤーロープネット掛

町道への落石対策……落石防止柵・80.0m



復旧工法を示した平面図

①計画地全景



②発生源状況



③耕地、水路への落石の状況



溝口町父原

崩壊形態：崖錐堆積物の地すべり

崩壊面積：3.10ha

被災状況：下部町道へ土砂崩落（町道通行不能）

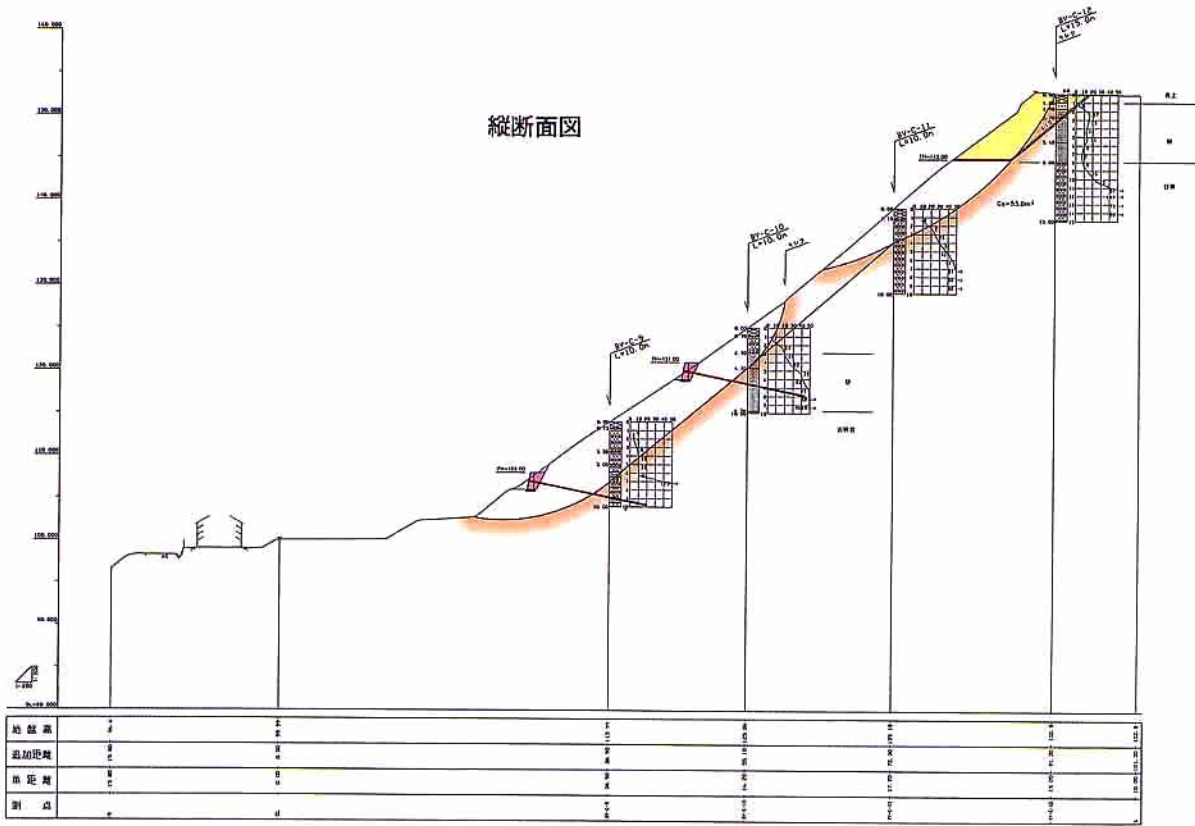
復旧計画：地すべり推力の軽減（抑制工）……斜面冠頭部の土塊の除去・1,281.4m³

斜面中腹の地すべり土塊の固定（抑止工）……グランドアンカー工・165本

崩壊斜面の固定、緑化……法枠工・7,461.6m²



復旧工法を明示した平面図



①計画地全景及び保全対象



溝口町三部から、父原海蔵寺方面を写す

②計画地全景及び保全対象



溝口町古市（県道沿）から、父原海蔵寺方面を写す

③法枠工の計画地（Aブロック）



④町道へ土砂、立木流入



土砂崩れで露出した山肌

町道父原荘線に落下した土砂及び立木

溝口町大坂

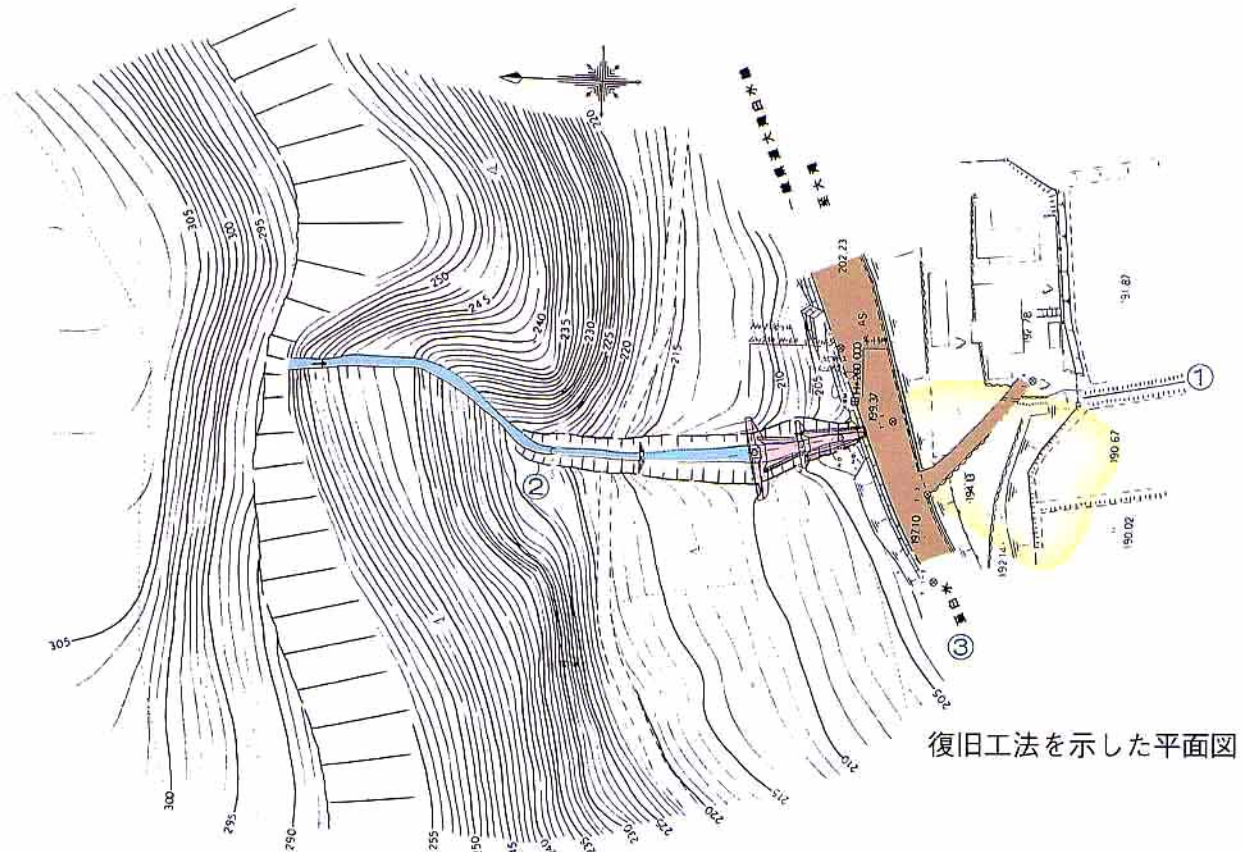
崩壊形態：地震後の集中豪雨による土石流

崩壊面積：0.14ha

被災状況：土石流が県道を寸断し、農地へ流入（県道一時通行不能）

復旧計画：溪流に堆積した不安定土砂の固定……谷止工・1基

侵食された溪岸固定と、安定した河道の確保……流路工・12.1m



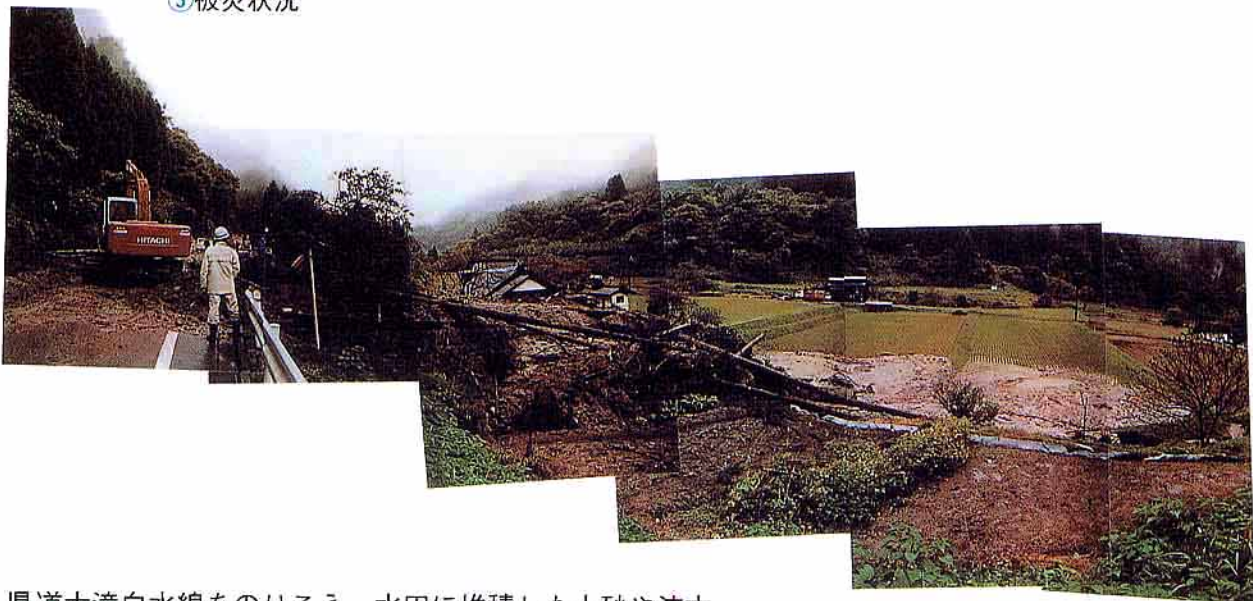
① 計画地及び保全対象全景



②崩落発生源の状況



③被災状況



県道大滝白水線をのりこえ、水田に堆積した土砂や流木



溝口町大坂地内

▲収穫前の「りんご」も落果（平成12年10月11日撮影）



溝口町谷川の低温倉庫内

▲整然と積まれていた米袋も崩れ落ちた（平成12年10月11日撮影）

第5章 公共建物等の被害

町内の公共建物は、役場庁舎が県などの応急危険度調査で建物の柱18本のうち9本に亀裂が見つかり、危険と判定され、10月7日から立入禁止となる被害を受けた。また、町民体育館・武道館・鬼の館やフィールドステーションは天井が落ちたり、壁等が剥離して使用不能となった。

教育施設においては、小・中学校の体育館など甚大な被害を蒙った。更に、宇代多目的広場では敷地法面が崩壊した。



▲被災を受けた役場庁舎（平成12年10月6日撮影）



▲ロッカーは倒れ書類が散乱している、地震後の役場庁舎2階事務室（平成12年10月6日撮影）



(平成12年10月6日撮影)

◀鉄筋が剥き出しとなった、
役場庁舎1階事務所の柱

亀裂ができ、コンクリートが脱落した、
▶ 役場庁舎1階事務室の柱

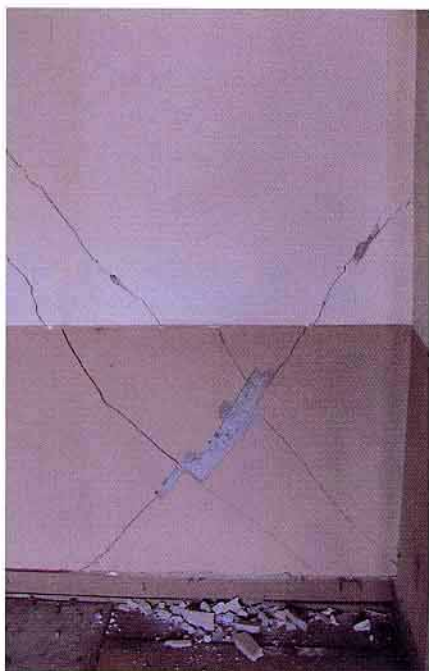


(平成12年10月6日撮影)



(平成12年10月6日撮影)

◀亀裂ができ、コンクリートが脱落した、
役場庁舎1階事務室の柱



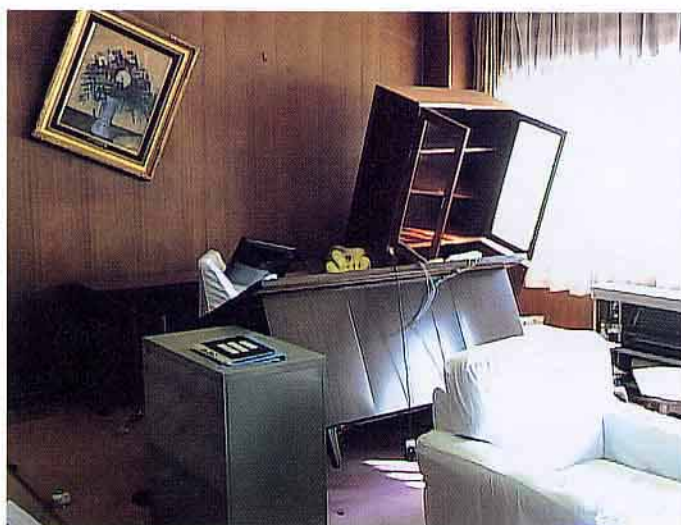
◀ 亀裂が縦横にできた
役場庁舎1階事務室の壁

(平成12年10月6日撮影)

2階への階段も
大きな亀裂ができる ▶



(平成12年10月6日撮影)



◀ 書棚は倒れ、
いまにも落ちそうな絵画
(役場庁舎2階の町長室)

(平成12年10月6日撮影)



◀吹っ飛んだ窓
(役場庁舎2階踊り場)

(平成12年10月6日撮影)

ロッカーのドアは開き、書類が▶
散乱した役場庁舎2階事務室



(平成12年10月6日撮影)



◀ロッカーのドアは開き、書類が
散乱した公民館2階事務室

(平成12年10月6日撮影)



◀天井が落ち、
鉄骨が見えている公民館

(平成12年10月6日撮影)

書類が散乱した
公民館1階事務室 ▶



(平成12年10月6日撮影)



◀書棚から落下した図書
(公民館図書室)

(平成12年10月6日撮影)



◀天井が落ちた武道館

(平成12年10月6日撮影)

▶ 屋根瓦が脱落して、
青いシートが掛けてある
(中学校寄宿舎)



(平成12年10月7日撮影)



◀ブロック塀もズタズタに壊れた
(溝口町溝口地内)

(平成12年10月7日撮影)